



佐世保市立江迎小学校

『笑顔が輝き、優しさあふれる学校』

夢わくわく
元気もりもり
心きらきら

〒859-6115 佐世保市江迎町中尾 126

校長 岩谷 豪
児童数 143名
学級数 10学級

本校では、特色ある学校づくりを通して体験学習の充実を図り、「生きる力」の育成に努めている。また、学校教育目標である「夢をもって自ら学び、心身ともに元気で、豊かな心をもつ児童の育成」の具現化を図るためにも、「地域に根ざした、より多くの大人が参加する教育の実践」は不可欠なものとする。

本年度も、たくさんの地域や保護者の方々に協力していただきながら、様々な体験活動を実施することができた。

「夢」わくわく 江小の子

～夢をもち、自ら学び、実践する子どもの育成～

< 1 学期 >

7月に、運営委員会の企画・運営による「赤白対抗リレー」を実施した。1年生から6年生までが一つのチームを作り、バトンをつないだ。すべての子どもたちが、全力で挑む姿がすばらしかった。



< 3 学期 >

2月に、運営委員会の企画・運営による「長縄チャレンジ」を実施した。1～6年生で一つのチーム（縦割り班）を作り、全10チームの合計回数が、10分間で2000回を超えることを目標にして取り組んだ。本番に向けて、昼休みに各チームで練習を行うなど、子どもたちが目標に向かって努力する姿がすばらしかった。練習の成果が実り、本番では見事に、目標の2000回以上を達成した。



「元気」もりもり 江小の子

～元気に活動し、最後までやりぬく子どもの育成～

【地域の教育力を生かした体験学習活動】

今年度も次のような体験学習を実施することができた。実施にあたっては、中尾地区、長坂地区をはじめ、多くの地域の方々に全面的に協力していただいた。

1年生：菜の花の種まき

3年生：芋作り体験、郷土を知る学習

5年生：米作り体験、嘉例川の環境調査

2年生：菜種の収穫、町探検

4年生：福祉の学習



2年生 「菜種の収穫」



3年生 「芋ほり」



4年生 「福祉の学習」



5年生 「稲刈り」

12月と1月には、放課後子ども教室とPTAの共催による「門松づくり」と「どんど焼き」を、全学年児童の参加を募って実施した。



「門松づくり」



「どんど焼き」

「心」きらきら江小の子

～思いやりのある、明るい子どもの育成～

【地域の文化・伝統芸能を引き継ぐ活動】

4～6年生は今年度も、長坂浮立保存会の皆様に浮立をご指導いただいた。11月には、「江小秋まつり大運動会」午後の部として、江迎商店街を舞台に、「浮立道行披露」を行った。本活動を通して子どもたちは、地域の伝統芸能のよさと、それを引き継ぐことの大切さを理解するとともに、活動の中で地域の方々と楽しく交流を図ることができた。

1～3年生は、地域の方々のご指導のもと、繭玉作りを行った。作った繭玉は「浮立道行」の沿道を飾り、浮立道行に彩を添えた。また1年生は、3月の「肥前えむかえ繭玉まつり」に合わせて、花手水体験を行った。



4～6年生「浮立道行披露」



1～3年生「繭玉づくり」



1年生「花手水体験」

【江迎地区コミュニティ・スクール】

江迎地区コミュニティ・スクールがスタートして2年目となる本年度は、10月に、江迎町内三校合同行事を開催した。当日は、三校の児童・生徒が江迎中学校に集合し、交流会を行った。また、プロ・バスケットボールチームの長崎ヴェルカよりチア・リーダーを招聘し、一緒に踊ったり、体を動かしたりして交流を楽しんだ。



本校児童と卒業生



ダンス教室の様子

成果と課題

本年度も、充実した取組を展開することができた。地域の方々の熱い思いと実践力は、本校の教育活動にはなくてはならないものになっている。昨年度は、悪天候のため開催できなかった三校合同行事も、本年度は無事に開催することができた。

また、昨年度から始まった「花手水体験」は、「肥前えむかえ繭玉まつり」とコラボレーションした取組として、1年生が体験することができた。これからも、地域と共にある学校として、子どもたちの活動が地域の活性化に貢献できるのであれば、この上ない喜びである。特に次年度は、創立150周年の記念すべき年であり、年間を通して様々な記念行事や記念事業を計画している。そのため、本年度以上に、学校と保護者・地域が三位一体となり、協働して様々な活動を推進していく。